

## 令和2年度 社会福祉法人丹穂会 事業計画（案）

近年の『働き手不足』の問題は、福祉分野においては益々深刻化してきています。労働基準法改正（働き方改革）や介護職員等特定処遇改善の考え方にに基づき、就業規則・給与規程の見直しを行ってきましたが、今後も更に改善に向けた検討会を継続し、人材確保に努めたいと思います。職員が生き生きと働くことができ、福祉の仕事の魅力を発信できる施設づくりに努めます。

また、近年の大規模自然災害やコロナウイルスのパンデミック等、今後も多くの危機的状況が想定されます。防災対策・感染症防止対策の再確認と、定期的な教育・訓練の実施を徹底し、不測の事態にも対応できるよう体制の強化に努めます。

### ① 障害者支援施設「緑ヶ丘学園」

利用者の年齢層の広がりにより、心身機能・活動能力の個人差が大きく見られる現状、利用者個々の状況を適切に把握し、支援計画の作成・実施・評価を行う体制の強化に努めていく。また、利用者一人一人が社会の一員として生活しているということを念頭に置き、地域社会との連携に努め、利用者ができる限り社会参加の機会を持つことができるように努めていく。

### ② 特別養護老人ホーム「福寿荘」

少子高齢化や社会環境が多様化する中、高齢者介護のセーフティーネットとしての機能を果たしていくことを目標とする。また、生活困窮世帯・介護放棄・8050問題など、要介護高齢者を取り巻く課題にも目を向け、関係相談機関と連携を図りながら世帯ぐるみの見守り機能を構築していく。

## 1 事業の経営

### 第一種社会福祉事業

- (1) 障害者支援施設 緑ヶ丘学園 生活介護（60人） 施設入所支援（50人）
- (2) 特別養護老人ホーム 福寿荘（50人）

### 第二種社会福祉事業

- (1) 緑ヶ丘学園短期入所事業（5人）
- (2) 特定相談支援事業所みどり
- (3) 福寿荘短期入所生活介護事業（20人）
- (4) 福寿荘通所介護事業（25人）日常生活支援総合事業通所型事業（10人）

### 公益事業

- (1) 緑ヶ丘学園日中一時支援事業（10人）
- (2) 福寿荘居宅介護支援事業

## 2 理事会・評議員会の開催計画

### ・理事会

- 5月 第1回理事会（令和元年度事業報告、令和元年度決算報告 等）
- 11月 第2回理事会（令和2年度資金収支補正予算 等）
- 3月 第3回理事会（令和3年度事業計画、令和3年度当初予算 等）

### ・評議員会

- 6月 定時評議員会（令和元年度事業報告、令和元年度決算報告 等）

## 3 人材の確保

近年の『働き手不足』の中、福祉分野での人材不足は更に深刻化している。現任職員の定着を図るため、労働環境の整備や教育・研修の機会の確保による「働きがい（ワークモチベーション）」の向上に努めていく。

また、ハローワークや福祉人材センターの就職相談会等に参加する他、福祉職場体験や実習生を積極的に受け入れ、職場の魅力を発信できる環境を整え、新規職員の確保に努めていく。

## 4 施設整備など

- ・緑ヶ丘学園 改築後14年目となり経年劣化や不具合箇所について、利用者の生活環境の改善を考慮しながら、大規模修繕工事を計画的に実施していく。
- ・福寿荘 移転改築に関する協議

## 5 施設整備資金借入金の償還

- ・借入先：独立行政法人福祉医療機構
- ・借入理由：緑ヶ丘学園移転移築に伴う諸経費等
- ・借入金額：204,700,000円
- ・令和2年度償還額（15回目）：

元金	10,230,000円
利息	843,975円